

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ぞうさんの足音					公表日	令和7年 1月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		基準を満たしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		基準を満たしています。	基準を満たしていますが、より効果的な配置に努めます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		配慮しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	清掃消毒、整理整頓しています。	職員から改善の提案があれば速やかに対応しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		個室や間仕切りなど、必要に応じてお子様に負担のない環境づくりをしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者アンケート結果は職員に周知し、改善に努めています。 保護者様からのお声は励みになります。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		職員が意見やアイデアを出しやすい職場環境を心掛けています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1		職場環境改善のため定期的に外部評価を受けています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		つみきの会による定期的な職員研修により、療育スキルをブラッシュアップしています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		支援プログラムを作成し、公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		アセスメントの内容を客観的に分析し、個別支援計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別支援計画に作成には、支援にかかわる職員も参加しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		個別支援計画に基づいた支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		お子様の適応行動の状況は記録し、職員間で共有しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2		利用者毎に必要な支援内容を具体的に設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		活動プログラムは職員全体で立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		活動プログラムが固定化・陳腐化しないよう工夫しています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2		お子様の状況に応じて、個別活動と小集団活動を適宜組み合わせ支援しています。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援開始前に職員間の打合せを行っています。			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後に職員間で振り返りを行い、情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		支援内容を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		適切に見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2		「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2		自己決定する力を育てるための支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		お子様の状況をよく理解した職員が対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		地域の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		保育所等訪問支援を行い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2		保育所等訪問支援を行い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2		地域の関連機関が開催する研修会や勉強会に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	2		職員から提案のあった企画案を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1	積極的に参加しています。	自立支援協議会やさんだ子どもネットに参加しています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		情報共有ツールを活用して、保護者様と共通理解を持つよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			職員から提案のあった企画案を検討します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		丁寧な説明を心掛けます。	安心してご利用いただけるよう、丁寧な説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		個別支援計画の作成には、お子様や保護者様の意向を聞き取りしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2		説明の上、個別支援計画に同意いただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		個別支援計画作成時だけでなく、いつでも速やかにご相談に対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2			職員から提案のあった企画案を検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		お問い合わせや苦情に対して迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			事業所の活動内容をより知っていただくための情報発信に努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報は施錠できる保管庫に保管しています。契約時、個人情報取扱い同意書について説明し、同意を得ています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		伝わりやすさに配慮します。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2			職員から提案のあった企画案を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各種マニュアルに基づく研修や訓練を定期的 に実施します。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2		BCPを職員に周知し、定期的に訓練を行います。	研修及び訓練の結果をBCP改訂に反映させます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2		契約時にお子様の体調や服薬状況などを聞き取ります。	お子様のてんかん発作や体調などの情報を共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		食事の提供はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全確保に努めています。	利用者及び職員の安全のための取り組みを継続します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2			安心してご利用いただけるよう安全確保のための取り組みについて周知します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットや事故報告など、職員間で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止に関する研修を行います。	日頃から職員の負担感の軽減に配慮します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2		身体拘束適正化に関する職員研修を行います。	